

奈良先端科学技術大学院大学創立30周年  
記念事業実施報告書

令和4（2022）年1月

30周年記念事業実施プロジェクトチーム

## 目 次

はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
I 創立30周年記念事業の趣旨	・ ・ ・ ・ ・ 2
1. 記念事業の検討	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 記念事業実施要領の確定	・ ・ ・ ・ ・ 2
3. 記念事業の内容	・ ・ ・ ・ ・ 3
II 創立30周年記念事業の概要	・ ・ ・ ・ ・ 4
1. 記念式典	・ ・ ・ ・ ・ 4
2. 30年の歩みを振り返る事業	・ ・ ・ ・ ・ 4
3. これからの30年の発展を具体化する事業	・ ・ ・ ・ ・ 5
4. 冠事業	・ ・ ・ ・ ・ 7
5. 生駒市市制50周年記念事業との連携	・ ・ ・ ・ ・ 7
6. 記念事業を支える事業	・ ・ ・ ・ ・ 9
III 記念事業の推進体制	・ ・ ・ ・ ・ 12

## はじめに

---

奈良先端科学技術大学院大学は、令和3（2021）年10月1日に創立30周年を迎えることができました。

この30周年という節目の年を迎えるにあたり、「これまでの30年」として、先達の数多の業績に対し、感謝と敬意を払いながらその理念を継承していくとともに、「これからの30年」として、持続可能な社会実現を見据えた先端科学技術の進展、科学技術分野の次世代を担う人材の育成、さらには「共創」をキーワードとした地域貢献を推進するため、学内に「30周年記念事業実行プロジェクトチーム」を設置し、令和3年1月1日から令和3年12月31日の間において、「奈良先端科学技術大学院大学創立30周年記念事業」という冠のもと、各部署において様々な事業を実施してまいりました。

しかしながら、令和2年初頭から現在に至るまで、未だ猛威を振るい続ける新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で、予定されていた冠事業が中止あるいは延期、さらには開催しても、その開催形態の変更を余儀なくされるなど、まさに新型コロナウイルスに翻弄された1年となってしまいました。特に、令和3年10月2日に各界からの要人や本学にゆかりのある方々をお招きし、盛大に挙行する予定であった「創立30周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会」は、未だに新型コロナウイルスの収束の目途は立っていないものの、令和4年10月1日に延期することとなりました。創立30周年記念事業実施期間は終了しましたが、本行事が無事に開催され、本学が「これからの30年」に向かって力強い一歩が踏み出せるように、準備を進めてまいります。

一方、新型コロナウイルスの影響下でも、創意工夫を凝らし、多くの主催・共催事業を実施することができました。特に市制50周年を迎える生駒市とは包括連携協定を結び、様々な場面で連携・協力を図り、より一層「共創」による地域貢献を果たすことを期待します。また、生駒市との連携・協力も含め、創立30周年記念事業の詳細については、本報告書をご一読いただけましたら幸甚です。

最後に、創立30周年記念事業実施期間としては、令和3年12月31日をもって一区切りとさせていただきますが、「これからの30年」に向けて、本学の将来像である「先端科学技術研究の新たな展開を先導する国際的な教育研究拠点としての地位」の実現のため、「歩」を進めてまいります。

令和4（2022）年1月

理事・事務局長（PTリーダー） 渡 邊 五 郎

## I 創立30周年記念事業の趣旨

---

### 1. 記念事業の検討

平成3（1991）年に国立大学で4番目の大学院大学として創設された奈良先端科学技術大学院大学では、令和3（2021）年10月1日に創立30周年を迎えるにあたり、令和元（2019）年12月6日開催の戦略企画本部会議において、30周年記念事業実行プロジェクトチーム（以下「本プロジェクトチーム」という。）を設置することが承認されました。

なお、令和元（2019）年6月25日開催の役員懇談会では、「創立30周年記念式典を実施するが、無理のない範囲で実施する」ことが確認されました。

令和2（2020）年6月12日に、本プロジェクトチームが組織され、具体的な事業計画案を検討することとなりました。

### 2. 記念事業実施要領の確定

第1回の本プロジェクトチームが、令和2（2020）年6月12日に開催され、30周年記念事業の実施計画案・作業スケジュール案が承認されました。また、本プロジェクトチームの下に30周年記念データ集編集ワーキンググループ（以下「本ワーキンググループ」という。）を設け、30周年記念史を取りまとめることが承認されました。

令和2（2020）年11月30日開催の本プロジェクトチームで記念事業の基本的な考え方、実施計画等を柱とする実施要領案がとりまとめられ、同年12月8日開催の役員懇談会で承認されました。以降、「創立30周年記念事業実施要領」に基づいて記念事業を本格的にスタートさせました。

#### （参考）創立30周年記念事業の基本的な考え方

##### 1 基本理念

奈良先端科学技術大学院大学は、令和3（2021）年10月1日に創立30周年という大きな節目を迎える。これまでの30年に感謝するとともに、これからの30年の本学の更なる発展を見据えて、創立30周年記念事業を実施する。

学生や教職員、国内外の関係機関等とともに発展してきた30年を振り返り、この間培ってきた実績を継承し、本学の強み・特色を飛躍的に発展させていく。さらに、関係機関、地域と一体となって記念事業を展開することで、これから先の30年を担うべく次の世代へとつなげていきながら、先端科学技術の基盤となる情報科学、バイオ、物質の3分野に係る研究の深化と融合を推進するとともに優れた研究成果に基づく高度な教育により人材を育成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に貢献することを目指す。これによって、本学の将来像である「先端科学技術研究の新たな展開を先導する国際的な教育研究拠点としての地位」の実現に向けた出発点とする。

## 2. 実施方針

記念式典や記念となる事業（以下「記念事業」という。）の実施にあたっては、基本理念を踏まえ、次の視点に基づいて取り組む。

- (1) 生駒市と連携して地域住民に還元できるような取組を行う。
- (2) これまでの30年を振り返り、本学の発展を支えてきた先人たちに改めて感謝するとともに、本学の知名度向上や愛着・誇りを高める。
- (3) 次の30年を見据えた新たな取組につなげる。

なお、事業実施にあたっては、一過性の事業とせず、継続性のあるものを目指す。

## 3. 実施期間

令和3（2021）年1月1日～

## 3. 記念事業の内容

記念事業を推進するにあたっては、創立30周年を過去に顧みるだけでなく将来に向けた契機づくりにしたいと考えました。これまでの30年の歩みを踏まえて、本学が次の30年に何を成し遂げたいか、社会に対してどのような貢献ができるかについて、広く社会にお知らせすることとしました。このことは前述の「創立30周年記念事業実施要領」（以下「実施要領」という。）に盛り込むこととしました。

また、本学が創設され30年を迎える中、本学の認知度があまり高くないことも踏まえて、創立30周年を契機として知名度向上を図るためのキャンペーンも同時に行うこととしました。

## Ⅱ 創立30周年記念事業の概要

---

### 1. 記念式典

記念式典の開催に当たっては、コロナ禍や衆議院総選挙が予定される中、文部科学省、国会議員、奈良県知事、生駒市長をはじめとして関係者多数との数度にわたる調整を実施してまいりました。

式典自体にも、本学が入学式の恒例行事として実施している「狂言」を、記念講演会では本学がある奈良県の魅力を発信してもらうため東大寺別当に講演いただく、さらに、会場を奈良春日野国際フォーラム（能楽舞台）とするなど特色を出すように工夫しました。

また、コロナ禍での式典開催となることから、令和3（2021）年7月12日開催の本プロジェクトチームにおいて、「創立30周年記念式典・祝賀会の開催のためのガイドライン」を取りまとめ、政府・奈良県等のルールを踏まえた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取り決めました。

しかしながら、記念式典開催1か月前の全国及び近畿圏での新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加状況や、参加者の出席状況を踏まえて、やむを得ず1年間延期することとなりました（延期日：令和4（2022）年10月1日（土））。

（参考）当初の予定

日 時 令和3（2021）年10月2日（土） 14：30～18：30  
会 場 奈良春日野国際フォーラム  
内 容 記念式典、記念講演会及び記念祝賀会

### 2. 30年の歩みを振り返る事業

#### （1）30周年記念史の作成

奈良先端科学技術大学院大学が創設されて30周年にわたる輝かしい教育研究活動、大学運営が行われてきたところであり、特に20年からの10年間の取組内容をフォーカスし、本ワーキンググループのもと、令和4（2022）年3月までに記念史の内容をまとめ、同年10月に開催される記念式典の様子を盛り込み、30周年記念史として作成する予

定です。

記念史の編纂項目等については、令和3（2021）年2月1日開催の本ワーキンググループにおいて承認されました。

## （2）ホームページにおける本学の30年の歩みの公表

令和3（2021）年1月、実施要領を受けて本学ホームページに特設のページを開設しました。主な目的は、これまでの本学の取組や活動等を紹介し、まとめることで、これからの30年を作っていくための基盤とすることです。

具体的には、横矢前学長及び塩崎学長のメッセージをはじめとして、実施要領、記念事業一覧、ビジュアル年表を掲載するとともに、本学基金も紹介しております。

今後は、30周年記念史の作成を受け、必要に応じて情報発信することを検討してまいります。



### 基本理念

奈良先端科学技術大学院大学は、令和3（2021）年10月1日に創立30周年という大きな節目を迎えます。これまでの30年に感謝するとともに、これからの30年の本学の更なる発展を見据えて、本学の将来像である「先端科学技術研究の新たな展開を先導する国際的な教育研究拠点としての地位」の実現に向けた出発点とします。

### 実施期間

令和3（2021）年1月1日～12月31日

#### 学長メッセージ

- 進化し続ける大学として、2021年5月24日 第8代学長 塩崎一洋
- 創立30周年を迎えるにあたって、2021年1月1日 第7代学長 横矢前浩

- 奈良先端科学技術大学院大学 創立30周年記念事業実施要領
- 奈良先端大30周年ビジュアル年表

- 創立30周年記念事業一覧
- 奈良先端大基金

- 本学公式Twitter
- 主要部への協力・支援

- 本学公式Facebook

30周年記念事業の特設ページ

## 3. これからの30年の発展を具体化する事業

実施要領では、次世代融合研究領域推進プロジェクトやSDGs（持続可能な社会）、AIに関するシンポジウムの開催を計画していましたが、コロナ禍による制限もあり、可能な範囲で実施いたしました。

### （1）次世代融合領域研究推進プロジェクトに関するシンポジウム

令和2（2020）年度は未実施でしたが、令和3（2021）年12月16日に次世代融合領域研究推進プロジェクト成果報告会をオンラインにて開催いたしました。本学では、3研究領域連携の下、次代を先取りする学際・融合領域を新たに開拓し、世界をリードする研究活動を支援しており、本年は令和3（2021）年3月で研究期間が満了した4件のプロジェクト研究成果の報告会を実施いたしました。

### （2）SDGs（持続可能な社会）、AIに関するシンポジウム

#### ①生駒市制50周年・奈良先端大創立30周年連携シンポジウム（令和

### 3 (2021) 年 7 月 22 日開催)

本シンポジウムは、生駒市及び本学それぞれの周年事業として、双方主催で開催しました。生駒市は、全国でも先駆けて「環境モデル都市」に選定され、持続可能な循環型の住宅都市づくりやスマートコミュニティの形成を進めており、本学でもそれをサポートする研究成果の社会実験・実装等の取組が進められていることから、「生駒暮らしはこう変わるー市民力×大学力で描く持続可能なまちづくりー」と題して開催しました。

基調講演「データ利活用型スマートシティのかたち」

国立研究開発法人情報通信研究機構理事長 徳田英幸氏

パネルディスカッション「スマートコミュニティで変わる私たちの街と暮らし」

〈パネリスト〉

鹿ノ台自治連合会会長 田口信義氏

国立研究開発法人情報通信研究機構理事長 徳田英幸氏

株式会社官民連携事業研究所代表取締役社長 鷲見英利氏

信州大准教授・本学客員准教授 畑 秀明氏

本学助教 松田裕貴氏

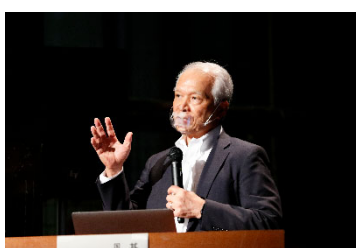
生駒市長 小紫雅史氏

〈コーディネーター〉

シンクタンク・ソフィアバンク代表 藤沢久美氏



たけまるホール大ホール（客席から）



基調講演を行う徳田氏



パネルディスカッションの様子

### ②東京フォーラム 2021（令和 3（2021）年 11 月 11 日開催）

本フォーラムは、平成 9（2011）年から毎回テーマを絞って開催しています。本年は、「DX 時代の『活躍人材』と教育の未来」をテーマに開催しました。



### 基調講演「デジタル社会の創成」

慶応義塾大学教授/内閣官房参与（デジタル政策担当）村井 純氏

### 特別講演「DX を駆使して社会課題に挑戦しよう」

中央大学法科大学院教授

野村修也氏

### パネルディスカッション「DX 時代の『活躍人材』と教育の未来」

#### 〈パネリスト〉

慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

砂原秀樹氏

パナソニック株式会社テクノロジー本部

ヒューマンテックソリューション部長/本学 OB

西川剛樹氏

中央大学法科大学院教授

野村修也氏

株式会社 dTosh 代表取締役社長/本学特任助教

平尾俊貴氏

本学教育推進機構イノベーション教育部門長

飯田 元氏

#### 〈セッションコーディネーター〉

朝日新聞社科学医療部記者

瀬川茂子氏



基調講演を行う村井氏



特別講演を行う野村氏



パネルディスカッションの様子

## 4. 冠事業

学内各部門で既に実施している事業、新たに実施する事業等のうち、一部を記念事業として冠付けを行い、様々なイベントが開催されました。

（13～14 頁参照）

## 5. 生駒市市制 50 周年記念事業との連携事業

生駒市は、令和 3（2021）11 月 1 日で市制施行 50 周年を迎え、本学の創立 30 周年と連携し、相互の周年事業に取り組んでまいりました。また、同市とは、これを契機として、令和 3（2021）年 10 月 21 日に包括連携協定を締結いたしました。

同市との連携事業として、本学 20 周年時と同様に生駒市庁舎に横断幕を設置することのほか、新たに前述の連携シンポジウムの開催、新型コ

ロナウイルスワクチン接種事業、生駒市制 50 周年記念花火の本学グラウンドでの打上げ協力、生駒市制 50 周年記念式典での学長挨拶など取り組んでまいりました。



生駒市と包括連携協定を締結



本学での新型コロナワクチン接種の様子



生駒市庁舎での横断幕設置



本学での生駒市制 50 周年花火打ち上げ



生駒市制 50 周年記念式典でのご挨拶



生駒市・本学の記念トートバッグ

## 6. 記念事業を支える事業

### (1) PR 事業 (広報)

記念事業をより効果的なものとするため、学外に向けて積極的な PR を行ってまいりました。

#### ア. ホームページや SNS 等による情報発信

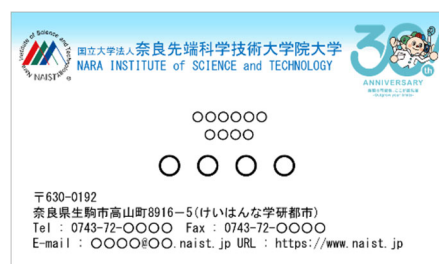
本学ホームページや SNS 等、様々な媒体を活用し、本学が 30 周年を迎えることを広く周知するとともに、記念事業に関する情報の発信を行いました（「ホームページにおける本学の 30 年の歩みの公表」の項を参照）。

#### イ. 記念ロゴマークの積極的活用

記念ロゴマークは、本学の印刷物や PR グッズに使用するほか、本学が主催する会議、イベント等において積極的に頒布しました。また、役員及び管理職員、広報担当者等には、30 周年ロゴ入りの名刺を配布し、学外への発信を行いました。



30 周年記念ロゴマーク



30 周年記念ロゴ入り名刺

#### ■コンセプト

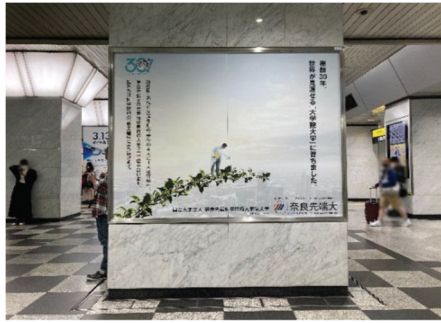
スローガンの「無限の可能性、ここが最先端」をロゴに落とし込みました。「30」を「∞マーク」と掛け合わせ「無限の可能性」を表現しつつ、感嘆符をボタンに見立て、NASURA が走っている姿と組み合わせることで、時代の最先端を作り出す「アイデア」を次の 40 周年、50 周年…未来へ継承していくという思いを込めました。

#### ウ. 創立 30 周年に関する広報

本学が創設され 30 周年を迎える中、本学の認知度があまり高くないことも踏まえて、創立 30 周年を契機として知名度向上を図るためのキャンペーンも同時に行うこととしました。

本学で従前より実施していた JR 西日本車両の一部で車内広告を実施していたものを改め、京阪神地区の JR 主要ターミナル駅での本学の大型ボード広告の掲出をはじめとして、文部科学省情報ひろばでの企画展示などを実施しました。





大型ボード広告を掲出



文部科学省庁舎での本学企画展示

## エ. 近鉄グループホールディングス株式会社と連携した広報

近鉄グループホールディングス株式会社 小林哲也代表取締役会長／グループCEO（本学支援財団理事長）のご支援により、近鉄「特急ひのとり」座席ポケットでの広告や近鉄学研奈良登美ヶ丘駅における広報企画展示を実施しました。



「特急ひのとり」座席ポケット広告



学研奈良登美ヶ丘駅での広報企画展示

## オ. Golden Rabbit Beer 社と連携した広報

ゴールデンラビットビール社（奈良市）と高木博史バイオサイエンス領域教授らとの共同研究によって育種に成功した「プロリン」を多く含むビール酵母を用いたクラフトビール「かぐやま」を醸造し、創立30周年を記念するオリジナルラベルを施して販売しました。



市橋代表と高木教授



30周年記念オリジナルラベル

## カ. 山中伸弥栄誉教授記念ランニングロードの設置（記念事業）

2020年東京オリンピック聖火リレーの奈良県内ルートに本学が決

定していたことを踏まえ、創立記念事業の一貫として、山中伸弥京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授が本学在籍中にランニングをしていた外周道路を「山中伸弥名誉教授記念ランニングロード」として整備しました。



除幕式の様子

## キ. 記念グッズの作成

本学創立 30 周年記念事業の関連グッズとして、コロナ禍や環境保全等にちなんでマスクやエコバック等を作成しました。



周年事業グッズ

## (2) 寄附等による資金調達

創立 30 周年には、できるだけ多くの方々に関わっていただくことを念頭に、寄付という形で協力できる・協力したいという方に対して、記念事業の参加の一つの形として、広く寄附等を募集しました。

- ・JT（日本たばこ産業（株））とネーミングライツ協定の締結
- ・生駒市制 50 周年・奈良先端大創立 30 周年連携シンポジウムにおいて大学基金のパンフレットを配布
- ・クレジットカードによる寄附方法を導入



Rethink（JT）バイオサイエンス大講義室の前にて

### Ⅲ 記念事業の推進体制

記念事業の実施に当たっては、この実施要領に基づいて実施するものとし、必要に応じて役員懇談会に付議して決定・実施することとする。

記念事業の円滑かつ効率的な推進を図るため、次の推進体制を設ける。

#### 30周年記念事業実行プロジェクトチーム（令和2年6月12日設置）

役割	氏名	役職名
リーダー	渡邊五郎	理事・事務局長
サブリーダー	松山篤	企画・教育部長
	井上美智子	情報科学領域長
	梅田正明	バイオサイエンス領域長
	河合壯	物質創成科学領域長
	高橋稔	研究・国際部長
	島崎正弘	管理部長
	堀内伸也	学長補佐・企画総務課長
	有賀崇晶	企画総務課課長補佐・総務係長
	近藤雄一郎	企画総務課渉外企画係長
	松本健一	前情報科学領域長（令和3年3月31日まで）
	橋本隆	前バイオサイエンス領域長（令和3年3月31日まで）
	太田淳	前物質創成科学領域長（令和3年3月31日まで）
	家門直樹	企画総務課総務係長（令和3年3月31日まで）

## 資 料

### (1) 本学主催の冠事業の一覧（令和3年1月～12月）

	事業名（所掌部門）	日程	備考
1	令和2年度国際交流懇話会 （国際課）	中止	
2	留学生と留学生採用を考える企業との交流会 （教育支援課・教育推進機構）	1月21日～22日	※オンライン開催
3	NAIST JOB FAIR 2021 （教育支援課・教育推進機構）	2月1日～4日	※オンライン開催
4	受験生のためのバーチャルオープンキャンパス 2021.02（教育支援課）	2月20日	※オンライン開催
5	受験生のためのバーチャルオープンキャンパス 2021.05（教育支援課）	5月15日	※オンライン開催
6	第35回奈良先端大産学連携フォーラム （研究協力課）	中止	
7	Meet the Alumni（OBOG 留学生との交流会） （教育支援課・教育推進機構）	8月27日	※オンライン開催
8	公開講座 2021 （企画総務課）	現地開催中止	※アーカイブ配信
9	NAIST 留学生フェア （教育推進機構）	10月9日	
10	デジタルグリーンイノベーションセンター・キックオフシンポジウム （デジタルグリーンイノベーションセンター）	10月15日	
11	第3回 NAIST 同窓生講演会 （教育支援課・教育推進機構）	10月26日	※オンライン開催
12	奈良先端大東京フォーラム 2021 （研究協力課）	11月11日	
13	奈良先端大・奈良女子大 CAREER FORUM 2021 （教育支援課・教育推進機構）	11月15日～16日	※オンライン開催
14	オープンキャンパス 2021 （企画総務課）	11月20日	
15	ホームカミングデー （教育支援課）	11月20日	
16	地域共創推進室キックオフシンポジウム （地域共創推進室）	11月24日	
17	Meet the Alumni（OBOG 留学生との交流会） （教育支援課・教育推進機構）	11月26日	※オンライン開催
18	NAIST JOB FESTA （教育支援課・教育推進機構）	12月17日	※オンライン開催
19	第13回奈良先端大男女共同参画推進セミナー （男女共同参画室）	中止	

(2) 本学と他機関共催の冠事業の一覧

	事業名(所掌部門)【共催先】	日 程	備 考
1	CU-NAIST-TLL Trilateral Symposium (バイオサイエンス領域) 【 <u>チュラロンコン大学(タイ)、 テマセク研究所(シンガポール)</u> 】	中 止	
2	修士課程ダブルディグリー・プログラ ム協定調印式・記念シンポジウム (教育推進機構) 【 <u>カセサート大学(タイ)</u> 】	7月14日	※オンライン開催
3	生駒市制50周年・奈良先端大創立 30周年記念連携シンポジウム (企画総務課) 【 <u>生駒市</u> 】	7月22日	
4	インドネシオフィス6周年記念シン ポジウム・インドネシアNAIST同窓 会(INAA)総会 (教育推進機構) 【 <u>インドネシアNAIST同窓会</u> 】	8月7日	※オンライン開催
5	けいはんな学研都市7大学連携「市 民公開講座2021」 (企画総務課) 【 <u>同志社大学、同志社女子大学、 大阪電気通信大学、京都府立大学、 奈良学園大学、京都大学、国立国会 図書館関西館</u> 】	9月3日・10日・ 17日	※オンライン開催
6	国際共同研究室成果報告会(仮称) (研究推進機構) 【 <u>カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ)、エコール・ポリテク ニーク(フランス)、プリティッシ ュコロンビア大学(カナダ)</u> 】	延 期	